

じっきょう 家庭科資料

(通巻 71号)

みんなで家庭科を

No. **56**

巻頭

子どもの貧困対策と
とりくみ

もくじ／

子どもの貧困対策ととりくみ	1
マイナンバー制度について考える	6
服育による気づきが広げる子どもたちの世界	13
ICT教材を用いた授業実践	19

子どもの貧困対策ととりくみ

特定非営利活動法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク 理事長 栗林 知絵子

1. 設立の経緯

特定非営利活動法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク（以下 WAKUWAKU）は、「子どもの貧困」をテーマに、地域の子どもの地域で見守り育てることをコンセプトとして活動しています。

2011年の秋、代表を務める私が、中学3年生のT君の高校受験をサポートしたことがきっかけです。プレーパークに遊びに来ていたT君と、夜の9時頃、スーパーで出会いました。母親は仕事で帰りが遅く、夕食にする弁当を買いに来たところでした。「高校に行けるか分からない」、そうつぶやいた彼に、私は「無理じゃないよ!」と応え、毎日の無料学習支援を自宅で始めたのです。

この受験応援に際し、カンパを集めることとなり、約100名の地域の方からカンパが集まりました。せっかくながつながった100名余りの方たちに、子どもたちを支援する仲間になってもらいたいと思い、メーリングリストを立ち上げました。それが

WAKUWAKUの原点です。2012年6月24日に設立シンポジウムを行い、2013年8月にNPOの認証を取得しました。

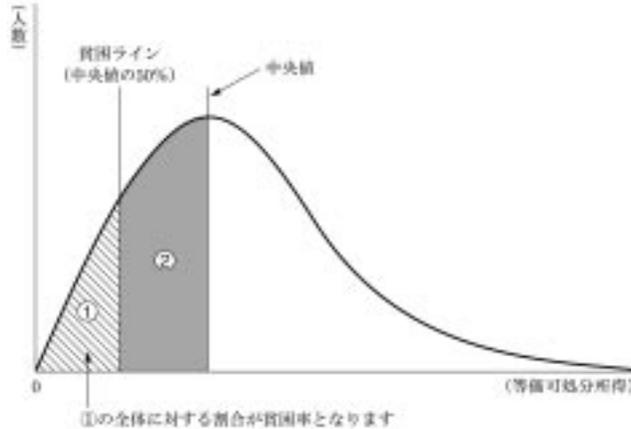
【6人に1人の子どもが貧困状態】

2014年、厚生労働省はわが国の子どもの相対的貧困率が16.3%であると発表しました。データを取り始めた1985年以来最悪の数値でした。つまり、6人に1人のこどもが貧困状態なのです。

相対的貧困率とは、家族の可処分所得額（額面の収入額から税金や社会保険料や国民年金保険料を引き、社会保障の給付金、児童手当、児童扶養手当（ひとり親対象）を加算したひと月の収入）を、所得順に並べた場合の中央値の所得の半分以下の所得を相対的貧困と示します。

具体的には、4人家族で年間244万円（月約20万円）で暮らしている状況です。20万円から家賃、光熱費、電話代、子どもにかかるさまざまなお金を差し引きすると、食費を削ってやりくりするしかないというも領けます。しかも、この額は上限でし

図表 1-3 等価可処分所得の分布の概念図



山野良一氏「子どもに貧困を押しつける国・日本」(光文社新書)より引用

かないのです。16.3%の子どもたちが暮らす家庭はこの額より下回る金額で暮らしています。

また、ひとり親世帯の貧困率は、50%を越えており、OECD諸国の中でトルコについて2番目と突出しています。しかも日本のひとり親世帯の就労率は高く、いかにワーキングプアな状態であるかが分かります。現在、私が関わっている子どもたちも母子家庭がとても多いです。

【見えにくい「子どもの貧困と食生活」】

ひと昔前と違い、「子どもの貧困」は見えにくい状況となっています。フリーマーケット等で安価な服が手に入りますので、ぼろぼろの服を着ているということは、まずありません。見た目には分からないのです。また、子どもたちは家のことを隠そうとしますし、困っていることを容易には話しません。私が出会った子どもを紹介しましょう。

○ひとり親家庭の母は、夜の仕事のため朝ごはんを用意できず、親の寝ている脇を通り学校に行く子どもがいます。高学年になると、学校も遅刻が度重なり、教室でも机に突っ伏して寝ている子どもがいます。

○親がご飯を手作りしてくれるが、お金に余裕がないため一日一食の家庭

○家計が苦しいために、肉類が食卓に出すことができない家庭

○親がダブルワークのため、ご飯の準備がままならず、毎日500円をもらってコンビニで弁当とジュース等を購入して、好きな時間に食べる子ども

○親にお金をもらえず、家の冷蔵庫の中もからっぽ

に近い状態で、昨日から何も食べてないとつぶやく子ども

○月末は家計が切迫、給料が入るまでの間、2個で100円の菓子パン1個ずつを夕食にする親子

○家がゴミ屋敷で、調理する環境がなく、食材を煮炊きできないため、何年もコンビニのオニギリやカップラーメンを食べている親子

○調理するより安価で簡単なので、親が家にも人数分のコンビニ弁当を購入する家族

○学校給食のない土日に仕事を抱える親のため、毎回1,000円を親にもらい、10時に駄菓子、昼にカップラーメンとナゲット、3時にコンビニでスナック菓子、その合間に、自動販売機のジュースやアイスクリームを買い食いしている子

○ひとり親家庭の母は鬱で、食事はいつもコンビニ弁当や、安いチェーン店の牛丼などで、「ごはん」ではなく「えき」だという高校生

このような食生活は、なかなか周囲からは見えにくいものです。安価で安易に手に入る食環境、満足に食べていない子ども、孤食(子どもがひとりで食事をする)の子どもは経済的な貧困とともに関係性の貧困にも陥りやすいです。貧困環境は子どもの自尊心までも損ない、自己肯定感の低い子どもとなるのです。内向的な子は「どうせ、うちなんて…」と自分を否定し、交友関係も消極的で不登校になるケースは少なくありません。また、外交的な子は万引きやひったくりなど、反社会的行動に走りがちです。世間は冷ややかに社会から孤立した子、反社会的な行動をとる子を批判しがちです。しかし、このような子どもの置かれる環境を考えると、けっして自己責任ではありません。

一家団欒で手づくりの料理を食べる、そんな当たり前の食生活がない家庭に育つ子どもたちは、からだだけでなく心もむしばまれていくのです。

2. WAKUWAKUの事業・活動

WAKUWAKUでは、遊びサポート、学びサポート、暮らしサポートという3つの事業で、子どもの生活全体をサポートしたいと考えています。いろいろなカタチの居場所が地域に点在することをめざしています。

(1) 遊びサポート

池袋本町プレーパークは、2004年に開設しました。プレーパークは、1943年にデンマークで始まり、子どもの外遊びの場を保障します。火を焚いたり、木に登ったり、穴をほったり、泥んこ遊びなど、自然の中の素材や道具を使いながら、子どもが「おもしろそう!」「やってみたい!」を実現できる場所です。

また、学校よりも長期的な関わりが可能である(児童館の役割に近い)ナナメのおとなが常駐するプレーパークは、自ら相談窓口に行く術を知らない子どものSOSをキャッチして、継続的な支援が可能です。支援が柔軟のため、子どもの支援から親の支援に発展するケースも多いです。



【プレーパーク ひたすら穴を掘って楽しい!】

(2) 学びサポート

豊島区で最初に無料学習支援を始めたのは、2010年に「クローバー」という弁護士の有志が集まり立ち上げた会です。現在は、クローバーとWAKUWAKUはコラボしながら、3か所の学習支援を運営しています。勉強を教えるスタッフは、大学生や地域のボランティアで、単に勉強を教えるだけでなく、困ったことや悩んでいることを相談してもらえる関係づくりを大事にしています。

また、外国籍の子どもが多い地域なので、「にほんごきょうしつ」も開いています。

(3) 暮らしサポート

① 要町あさやけ子ども食堂

2013年春、ひとりぼっちで夜ご飯を食べている子やコンビニ弁当を食べている子どもと一緒に、テーブルを囲み団欒を共にする「要町あさやけ子ども食堂」がオープンしました。



無料学習支援 勉強だけでなく、地域とつながる場です

WAKUWAKUの理事が、一軒家である自宅を開放して運営しています。開店日時は月に2回の5時30分から7時で、果物付きの定食(ごはん、お味噌汁、野菜中心の主菜)を300円で提供しています。支援している子どもやひとり親家庭、そのほか全ての子どもはお手伝いをしたら無料で食べられます。

いつもはインスタント食品やコンビニ食品を食べている子ども、この日は安全で温かいご飯を食べてほしいというスタッフの思いから、調味料や油の質もこだわっています。有機農法の農家からは季節野菜、遠方の方からお米、ご近所スーパーからは果物、お寺からはお供えのお菓子が届きます。

5時30分を過ぎるとひとり、またひとりとかわいいお客さんがやってきて、だんだん賑やかになり、一軒家に40名以上の方が集まり、わいわいガヤガヤ、みんなでご飯を食べています。

ごはんが終わった子どもは2階で遊び始めます。その日、初めて会った子同士もすぐに仲良くなって、押入れでお化け屋敷ごっこが始まったり、大学生に絵本を読んでもらったりしています。

最近はシングルマザーが、子連れでお越しになることが増えてきました。お母さん同士の交流もさかんで、地域の方が困っている方を連れて来られることもあります。何気ない雑談の中から、困り事が出てくることもあり、DV、虐待、不登校、いじめ、貧困など、問題はさまざまです。お話をお聞きして、適切な相談窓口につないだり、使える制度や社会資源がないか探したり、場合によっては弁護士を紹介します。

現在、区内の子ども食堂は3か所に増えました。そのうちの1か所は、中高生対象の子ども食堂として活動しています。大学生ボランティアが中高生の



子ども食堂の写真① ワイワイがやがやみんなでごはん



夜の児童館での夕食



子ども食堂の写真② 作り手も楽しくワイワイ

ピックブラザー、シスターとして寄り添い関わっています。

②夜の児童館

2014年11月より、孤食の子どもを対象として、毎火曜日の16時から20時に夜の児童館を始めました。こちらは登録制で無料です。お寺の施設を無償でお借りして運営しています。

地域の小中学生を対象としていて、現在7名の子どもが利用しています。やってきた子どもたちは、宿題をしたりしながら思い思いの時間を過ごし、18時頃から夕食です。手づくりの栄養バランスのよい食事を食べながら、テーブルをみんなで囲み、大家族のようです。食事の後は、皆でわいわい遊びます。

子どもたちがのびのびと過ごせるよう家庭的な時間を提供することを心がけています。

20時にお迎えを原則としていますが、保護者が迎えに来ることができない子どもはスタッフが送って帰ります。

3. ネットワークづくり

WAKUWAKUでは、子どもを支援する有機的な地域ネットワークの構築をめざし、ネットワークの担い手となる“おせっかいさん”の発掘につとめています。また、下記のような支援者同士のネットワークづくりも手がけています。

(1) としま子ども学習支援ネットワーク

どの地域の子どものも利用できるようにするには、無料学習支援の場を地域に点在させることが必要です。特に小学生は家の近所でなければ通えません。豊島区では、それぞれの地域で無料学習支援を立ち上げたいという地域住民があらわれ、その設立をWAKUWAKUでバックアップしてきました。また、社会福祉協議会主催の無料学習支援もあります。それらの学習支援活動を束ねて、社会福祉協議会が事務局となり、2015年6月に「としま子ども学習支援ネットワーク（とこネット）」が設立されました。貧困の連鎖を断つために、地域に根ざして活動している無料学習支援団体のネットワークです。とこネットの会合には、行政の関連部署の職員や社協のCSW（コミュニティソーシャルワーカー）も参加しています。今後、子ども支援のネットワークが地域全体に広がっていくことが期待されます。

(2) 子ども食堂ネットワーク

2016年1月、としまセンタースクエアにて「子ども食堂サミット」を開催しました。都内で子ども食堂の取り組みを始めた団体の活動紹介のあと、会場のみなさんと「子どもの貧困」と「食の支援」について考えました。1年前に開催した第1回サミットがきっかけとなり、都内の子ども食堂を立ち上げた方たちが集まり、子ども食堂ネットワークが産声

を上げました。こども食堂ネットワークが中間支援を担うことで、子ども食堂創り方セミナーを開催したり、フードバンクやNPO、お寺や教会、近郊の農家等と協働したりしながら、食材の支援を届けるシステムも構築していきたいと考えています。

4 WAKUWAKUの課題

今後、「子ども食堂」や「夜の児童館」を増やしていきたいと思っています。「子ども食堂」は、地域に開かれたオープンな場として、地域の交流拠点と成り得るからです。孤立しがちな家庭が地域とつながれる場であり、“おせっかい”したい地域住民が子どもと出会える場でもあります。

「夜の児童館」は、一人暮らしのお年寄りの一軒

家で展開し、地域に点在させたいと考えています。1週間に1回、近所の子どもがご飯を食べに来る、近所のおせっかいさんが料理をつくりに来る、学生が遊びに来る、疑似家族的にぎやかな時間を過ごすことでお年寄りも元気になれることでしょうか。まさに、地域の子どもを地域で見守る理想のカタチのひとつです。

地域の子どもを地域が見守り、学びや暮らしを有機的に支えるネットワークをつくり、子どもの未来を明るく変えていきたいと願っている。さまざまなカタチの居場所を通じて、信頼できるおとなや若者につながったとき、一人の子どもの人生が大きく変わる可能性があると思っています。

実教出版発行 29年度用教科書・準教科書のご案内

【文部科学省検定済み教科書】

新家庭総合

パートナーシップでつくる未来

B5判／244ページ／カラー

新家庭基礎

パートナーシップでつくる未来

B5判／212ページ／カラー

新家庭基礎21

B5判／192ページ／カラー

新図説家庭基礎

AB判／192ページ／カラー

家庭総合・家庭基礎につきましては、当資料発行時点で、検定申請中のため教科書番号は付記していません。ご了承ください。

301 生活デザイン

B5判／240ページ／カラー

301 フードデザイン

B5判／240ページ／カラー

305 子どもの発達と保育

B5判／144ページ／カラー

306 ファッション造形基礎

B5判／192ページ

303 生活産業情報

B5判／144ページ

【文部科学省著作教科書】

302 ファッションデザイン

B5判／242ページ

【準教科書】

※検定済み教科書が発行されていない科目について、弊社独自に編修・発行したテキストです。

生活産業基礎

B5判／160ページ

調理1

B5判／176ページ

調理2

B5判／160ページ

栄養

B5判／160ページ

リビングデザイン

B5判／144ページ

生活と福祉

B5判／192ページ

ファッション造形

B5判／192ページ